職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置	認可年月		1XI	長名				所在地			
名古屋医健スポー	ツ専門学	平成	25年3月2	8B T	木村	一郎		460-0008 愛知県名古屋市中[_ 区栄3-20-	-3			
校			認可年月					052-238-3455					
設置者名 学校法人滋慶コミ						者名		604-8203		所在地			
子校法人滋愛コミションアート		平成	17年3月3	3日	竹本	雅信	(住所)	京都府京都市中京[075-257-6507	区衣棚町5	51-2			
分野		定課程名			認定学科		専門	¶士認定年度	高度	専門士認定年	年度		厚門課程認定年度
文化・教養	文化・	教養専門記	課程	スポーツ	ソ科学科(星	丞間Ⅱ部)	平成	25(2013)年度		-		令和	3(2021)年度
学科の目的	学び、業界に	こおいて必然	須となる資	格の取得を	目指してい	る様なニーズ(く。知識に加: らくりを目指し	え、コミュニケ	ける人材を育成する。ファーションスキルやスポ	スポーツ医 ポーツビジ:	・科学に基づく ネススキルを身	基礎的知 身につけ、	識から、専門 主体性と思い	的知識まで幅広く いやりを持った職業
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)		格にも多数	挑戦してい	くことがで	きる。知識・			各だけではなく、食や低 高めていくとともに、こ					
修業年限	昼夜	全課程の修	§了に必要 [∞] 単位	な総授業時 対数	数又は総	講	義	演習	身	图	実	験	実技
2 年	昼間が	※単位時間、i かに記入	単位いずれ	1,740 194	単位時間単位		単位時間	1,710 単位時間 114 単位)単位時間 2 単位		単位時間単位	0 単位時間0 単位
生徒総定員	生徒実	員(A)	留学生数	数(生徒実員の	内数)(B)	留学生割	合(B/A)	中退率					
80 人	89 /	,		0	人	0	%	7 %	Ī				
	■卒業者数		:		40		Ż.						
	■就職希望 ■就職者数		:		33 33		<u> </u>						
	■地元就聘		•		25								
	■就職率(E/D)	- ±1 mm ±	фи. А. /= /=	100		%						
	■就職者に	こ占める地方	τ就職者の	割合 (F/E) 76		%						
	■卒業者に	占める就職	成者の割合	(E/C)									
				-	83		%						
就職等の状況	■進学者数 ■その他	x			5		Д						
	2人												
	(令和	- /	午座太光本	に阻力ァムコ	和6年□□・	日時点の情報	R)						
	■主な就職			に関する市4	州6年3月1	. 口吁尽の情報	R)						
	● 土 な が 項 (令和5年度卒		4										
	() 1 I I I I I I I I I I I I I I I I I I			<u> </u>	立旦10ウラ	イミングスク・	ール 等						
	スポーツジ	ム、フィット	・ネスクラフ	フ、抦院、ネ	を目がた、人へ								
	スポーツジ	ム、フィット	・ネスクラフ	ノ、病院、肝	女育院、人へ	127777							
	■民間の評	平価機関等	から第三	者評価:	女目に、へ	12777		無					
第三者による		平価機関等	から第三	者評価:	女育 阮、人	120000							
第三者による 学校評価	■民間の評 ※有の場合、	平価機関等	から第三	者評価:	安百阮、人	受審年月:		····	評価結果を持ち なべード				
学校評価	■民間の評 ※有の場合、	平価機関等 例えば以下	から第三	者評価:	女目 ク/エ、ᄉ゙			····	平価結果を打 ホームページ				
学校評価 当該学科の	■民間の評 ※有の場合、 評	平価機関等 例えば以下 平価団体:	から第三について任意	者評価: 意記載	女 目 P/元、ヘイ			····					
学校評価 当該学科の	■民間の評 ※有の場合、	平価機関等 例えば以下 平価団体:	から第三について任意	者評価: 意記載	女目 [阮、八个			····					
学校評価 当該学科のホームページ	■民間の評 ※有の場合、 科 https://ww	平価機関等 例えば以下 平価団体: ww.nagoya-	から第三について任動	者評価: 意記載	女目が、人へ			····					
学校評価 当該学科のホームページ	■民間の記 ※有の場合、 https://ww	平価機関等 例えば以下 呼価団体: ww.nagoya- 時間による	から第三について任動	者評価: 意記載	女月/匹、人~			····			1 740	溢价连眼	
学校評価 当該学科のホームページ	■民間の記 ※有の場合、 https://ww	平価機関等例えば以下 呼価団体: ww.nagoya- 時間による。	から第三について任意 について任意 iken.ac.jp/ 算定)	者評価:意記載		受審年月:		····				単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ	■民間の記 ※有の場合、 https://ww	平価機関等 例えば以下 平価団体: ww.nagoya- 時間による。 総授業時数	から第三に について任動 iken.ac.jp/ 算定)	者評価: 意記載	実験・実習	受審年月: ・実技の授業		····			0	単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ	■民間の記 ※有の場合、 https://ww	平価機関等 例えば以下 呼価団体: ww.nagoya- 時間による。 総授業時数	から第三について任が iken.ac.jp/ 算定) うち企業等	者評価: 意記載 / と連携した		受審年月: ・実技の授業		····			0 240	単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ	■民間の記 ※有の場合、 https://ww	平価機関等 例えば以下 呼価団体: ww.nagoyaー 時間による。 総授業時数	から第三に について任動 iken.ac.jp/ 算定)	者評価: 意記載 / と連携した と連携した	実験・実習	受審年月: ・実技の授業		····			0 240	単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ	■民間の記 ※有の場合、 https://ww	平価機関等 例えば以下 呼価団体: ww.nagoyaー 時間による。 総授業時数	から第三について任が iken.ac.jp/ 算定) うち企業等 うち必修授	者評価: 意記載 / と連携した と連携した 業時数	実験・実習	受審年月: ・実技の授業	非時数	 京 才			0 240 1, 080	単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ	■民間の記 ※有の場合、 https://ww	平価機関等 例えば以下 呼価団体: ww.nagoyaー 時間による。 総授業時数	から第三について任知 iken.ac.jp/ 算定) うち企業等 うち企業等	者評価: 意記載 / と連携した 実時数 うち企業等	実験・実習の授業	受審年月: ・ 実技の授業 時数	実習・実技	 京 才			0 240 1, 080 0	単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の記 ※有の場合、 https://ww	平価機関等 例えば以下 呼価団体: ww.nagoyaー 時間による。 総授業時数	がら第三について任知 iken.ac.jp/ 算定) うち企業等 うち必修授	者評価: 意記載 / と連携した と連携した 楽時数 うち企業等	実験・実習の授業	受審年月: ・実技の授業 時数 必 修の実験・	実習・実技 実習・実技 授業時数	 京 才			0 240 1,080 0 210	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した	■民間の記 ※有の場合、 https://ww	平価機関等 例えば以下 呼価団体: ww.nagoyaー 時間による。 総授業時数	がら第三について任知 iken.ac.jp/ 算定) うち企業等 うち必修授	者評価: 意記載 / と連携した と連携した 楽時数 うち企業等	実験・実習の授業	受審年月: - 実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の	実習・実技 実習・実技 授業時数	 京 才			0 240 1, 080 0 210	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か	■民間の評 ※有の場合、 https://ww (A:単位は #	平価機関等 例えば以下 呼価団体: w.nagoya- 時間による 総授業時数	がら第三について任知 iken.ac.jp/ 算定) うち企業等 うち必修授 (うち企業	者評価: 意記載 / と連携した と連携した 楽時数 うち企業等	実験・実習の授業	受審年月: - 実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の	実習・実技 実習・実技 授業時数	 京 才			0 240 1, 080 0 210	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	■民間の評 ※有の場合、 https://ww (A:単位は (B:単位は	平価機関等 例えば以下 呼価団体: w.nagoya- 時間による。 総授業時数	がら第三について任知 iken.ac.jp/ 算定) うち企業等 うち必修授 (うち企業	者評価: 意記載 / と連携した と連携した 楽時数 うち企業等	実験・実習の授業	受審年月: - 実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の	実習・実技 実習・実技 授業時数	 京 才			0 240 1,080 0 210	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か	■民間の評 ※有の場合、 https://ww (A:単位は (B:単位は	平価機関等 例えば以下 呼価団体: w.nagoya- 時間による。 総授業時数 数による算 総単位数	がら第三について任が iken.ac.jp/ 算定) うち企業等 うち企業等 (うち企業 定)	者評価: 意記載 / と連携した と連携した き業時数 うち企業等 うち企業等	実験・実習の授業 はと連携した と連携した	受審年月: ・実技の授業時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの 授	実習・実技()授業時数()受験(京 才			0 240 1, 080 0 210 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	■民間の評 ※有の場合、 https://ww (A:単位は (B:単位は	平価機関等 例えば以下 呼価団体: w.nagoya- 時間による。 総授業時数 数による算 数による第	がら第三について任が iken.ac.jp/ 算定) うち企業等 うち必修授 (うち企業 定)	者評価: 意記載 / と連携した と連携した 楽時数 うち企業等 等と連携し	実験・実習 演習の授業 と連携した と連携した たインター 実験・実習	受審年月: ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授	実習・実技()授業時数()受験(京 才			0 240 1, 080 0 210 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	■民間の評 ※有の場合、 https://ww (A:単位は (B:単位は	平価機関等 例えば以下 呼価団体: w.nagoya- 時間による。 総授業時数 数による算 数による第	がら第三について任が iken.ac.jp/ 算定) うち企業等 うち必修授 (うち企業 定)	者評価: 意記載 / と連携した と連携した 楽時数 うち企業等 等と連携し	実験・実習の授業 はと連携した と連携した	受審年月: ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授	実習・実技()授業時数()受験(京 才			0 240 1, 080 0 210 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か	■民間の評 ※有の場合、 https://ww (A:単位は (B:単位は	平価機関等 例えば以下 呼価団体: w.nagoya- 時間による 総授業時数 数による算 総単位数	がら第三について任が iken.ac.jp/ 算定) うち企業等 うち必修授 (うち企業 定)	者評価: 意記載 / と連携した と連携した 業時数 うち企業等 等と連携し とと連携した	実験・実習 演習の授業 と連携した と連携した たインター 実験・実習	受審年月: ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授	実習・実技()授業時数()受験(京 才			0 240 1, 080 0 210 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か	■民間の評 ※有の場合、 https://ww (A:単位は (B:単位は	平価機関等 例えば以下 呼価団体: w.nagoya- 時間による 総授業時数 数による算 総単位数	がら第三について任が iken.ac.jp/ 算定) うち企業等 (うち企業 定) うち企業等 で) こうち企業等 で) こうち企業等	者評価: 意記載 / と連携した と連携した 業時数 うち企業等 多と連携し とと連携した とと連携した	実験・実習 演習の授業 と連携した とと連携した たインター 実験・実習 演習の単位	受審年月: ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授	実時数 実習・実技 分授業時数 2業時数)	の授業時数			0 240 1,080 0 210 0 194 0 16	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か	■民間の評 ※有の場合、 https://ww (A:単位は (B:単位は	平価機関等 例えば以下 呼価団体: w.nagoya- 時間による 総授業時数 数による算 総単位数	がら第三について任が iken.ac.jp/ 算定) うち企業等 (うち企業 定) うち企業等 定) うち企業等 を で) で) で) で) で) で) で) で) で) で)	者評価: 意記載 / と連携した と連携した 業時数 うち企業等 を連携し とと連携した とと連携した	実験・実習 演習の授業 と連携した とと連携した たインター 実験・実習 演習の単位	受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授	実 時数 実習・実技 対投業時数) 対数 実習・実技	の授業時数			0 240 1,080 0 210 0 194 0 16 72	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か	■民間の評 ※有の場合、 https://ww (A:単位は (B:単位は	平価機関等 例えば以下 呼価団体: w.nagoya- 時間による 総授業時数 数による算 総単位数	がら第三について任が iken.ac.jp/ 算定) うち企業等 ううち企業等 (うち企業 定) うち企業等 を でうっち企業等	者評価: を連携した と連携した 業時数 うち企業等 うち企連携した と連携した を連携した を連携した を連携した をできる。 をで。 をできる。 をでをでをできる。 をできる。 をでをでをできる。 をでをできる。 をでをできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。	実験・実習 演習の授業 と連携した と連携した たインター 実験・実習 変習の単位 と連携したと連携したと	受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・変数 ・実技の単位 数	実	の授業時数			0 240 1. 080 0 210 0 194 0 166 72 0 14	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	■民間の評 ※有の場合、 https://ww (A:単位は (B:単位は	平価機関等 例えば以下 呼価団体: w.nagoya- 時間による 総授業時数 数による算 総単位数	がら第三について任が iken.ac.jp/ 算定) うち企業等 ううち企業等 (うち企業 定) うち企業等 を でうっち企業等	者評価: を連携した と連携した 業時数 うち企業等 うち企連携した と連携した を連携した を連携した を連携した をできる。 をで。 をできる。 をでをでをできる。 をできる。 をでをでをできる。 をでをできる。 をでをできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。	実験・実習 演習の授業 と連携した と連携した たインター 実験・実習 変習の単位 と連携したと連携したと	受審年月: ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授 ・実技の単位 数 必修の実験・ 必修の実験・	実	の授業時数			0 240 1. 080 0 210 0 194 0 166 72 0 14	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か	■民間の評 ※有の場合、 https://ww (A:単位は (B:単位は	平価機関等 例えば以下 呼価団体: w.nagoya- 時間による 総授業時数 数による算 総単位数	がら第三について任が iken.ac.jp/ 算定) うち企業等 ううち企業等 (うち企業 定) うち企業等 を でうっち企業等	者評価: を連携した と連携した 業時数 うち企業等 うち企連携した と連携した を連携した を連携した を連携した をできる。 をで。 をできる。 をでをでをできる。 をできる。 をでをでをできる。 をでをできる。 をでをできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。	実験・実習 演習の授業 と連携した と連携した たインター 実験・実習 変習の単位 と連携したと連携したと	受審年月: ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授 ・実技の単位 数 必修の実験・ 必修の実験・	実	の授業時数			0 240 1. 080 0 210 0 194 0 166 72 0 14	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か	■ 民間の合、 計	平価機関等 例えば以下 W.nagoya- 時間による記 総授業時数 と単位数 数による類 の担当なる でも担当なる。	がら第三: h h c n c n c n c n c n c n c n c n c n	者意記載 / とと連携 しした た 楽等 ううち とと 連携 しした た 連携 しした た 連携 しした た 連携 しした を 連携 して た を 単 して こ も 名 は で ま で ま し と と し ひ う う ち と と と し ひ う う ち と と と し ひ う う ち と と と し ひ う う ち と	実験・実習 演習の授業 と連携した たインター 実験・実習 と連携した たインター と連携した たインター た後あっ	受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・実技の選習の ンシップの技 ・実技の単位 数 必修の実験・ 必 が の実験・ な が の 変 が の 変 が の 変 が の 変 が の 変 が の 変 が の 変 が の 変 が の 変 が の 変 が の 変 が の の 変 が の の の の	実習・実技(実際・実技) (教 実習・実技 (教 単位数)	の授業時数	**************************************		0 240 1,080 0 210 0 0 194 0 0 16 72 0 0 14 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	■ 民間の許 ※ 有の場合、 計	平価機関以下: W.nagoya- 時間大学・ W.nagoya- 時間大学・ 特別大学・ W.nagoya- 時間大学・ のの個様とと ない。 「のの個様とと ない。 「のの個様とと ない。 「のの個様とと ない。 「ののの様とと	がら第三(iken.ac.jp / 算定) ううううう うちっちっちっちっちっちっちっちっちっちっちっちっちっちっちっちっ	者意記 性 とと 乗 うう 等 とと 位 うう 等 程従務 に し し た た 等 等 し し た た を を 上 進 数 ち な と 事 に で ま で し し し し ま し し ま し し ま し し ま し し ま し し ま し し ま し し ま	実験・実習 演習の授業 と連携した たインター 実験・実習 と連携した たインター と連携した たインター た後あっ	受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の演習の シシップの授 ・実技の単位 数 ・変技の単位 ない。 ・変数 ・変数	実習・実技 (表) (表	の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項	() () () () () () () () () ()		0 240 1,080 0 210 0 194 0 166 72 0 14 0 1	単位位時間 単単位位時間 単単位位時間間 単単位位時間間 単単位位時間 単単位位 単単位位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等をと実施した 実習等との表す。 に記入)	■ 民間の許 ※有の場合、 https://ww (A:単位は (B:単位な) (B:単位な)	平価機関以下 一個地震 一個地震 一地 一地 一地 一地 一地 一地 一地 一地 一地 一地	がら第三(iken.ac,jp/	者意記載 「とと、業・うう等ととと、位うう等ととと、数・をしたたた。」 とと、ないのでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	実験・実習 演習の授業 と連携した たインター 実験・実習 と連携した たインター と連携した たインター た後あっ	受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の演習の シシップの授 ・実技の単位 数 ・変技の単位 ない。 ・変数 ・変数	実習・実技 授業時数 (数 (専修学 (専修学	の授業時数 の単位数 が設置基準第41条第1項 が設置基準第41条第1項	(項第1号) (項第2号)		0 240 1,080 0 210 0 194 0 16 72 0 14 0	単位時間 単位 位時間 単単位 中華 単位 位 中華 単位 位 中華 単位 位 中華 単位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 人 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等を連携状れか に記入)	■ 民間の許 ※有の場合、 https://ww (A:単位は ** (B:単位な) ** (B:単位な) **	平価機関以下: W.nagoya- 時間大学・ W.nagoya- 時間大学・ 特別大学・ W.nagoya- 時間大学・ のの個様とと ない。 「のの個様とと ない。 「のの個様とと ない。 「のの個様とと ない。 「ののの様とと	がら第三(iken.ac,jp/	者意記載 「とと、業・うう等ととと、位うう等ととと、数・をしたたた。」 とと、ないのでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	実験・実習 演習の授業 と連携した たインター 実験・実習 と連携した たインター と連携した たインター た後あっ	受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の演習の シシップの授 ・実技の単位 数 ・変技の単位 ない。 ・変数 ・変数	実習・実技 授業時数 (数 (専修学 (専修学	の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項	(項第1号) (項第2号)		0 240 1,080 0 210 0 194 0 16 72 0 14 0	単位位時間 単単位位時間 単単位位時間間 単単位位時間間 単単位位時間 単単位位 単単位位	
学校評価 当該学科のホームン URL 金業署等のBいた に記入) に記入)	■ 民間の許 ※ 有の場合、	平価機関以下 一個地震 一個地震 一地 一地 一地 一地 一地 一地 一地 一地 一地 一地	がら第三任 (iken.ac.jp/ 算 うううう うち な企 企 整 等 等 接 企 業 業 修 企 業 業 等 単 企 教 の 表 と 書 等 等 単 企 業 課に業 す を 論 等 す せ な か の 教 と 者 と 論 等 す せ な か の 教 と 者 と 論 す を は か な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と 論 す と な か の あ と 者 と か と か と か と か と か と か と か と か と か	者意記載 とと連携ししたた 等等したたた 等等したした 業等等したたた 楽楽様しした 楽楽様しした 楽楽様し したた 楽楽様し しんち 巻きがらなど きゅう ととを からい とき ををしば るる 験	実験・実習 演習の授業 と連携した たインター 実験・実習 と連携した たインター と連携した たインター た後あっ	受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の演習の シシップの授 ・実技の単位 数 ・変技の単位 ない。 ・変数 ・変数	実習・実技 授業時数 実 単位数 (専修学 (専修学	の授業時数 の単位数 が設置基準第41条第1項 が設置基準第41条第1項	第1号) (項第2号) (項第3号)		0 240 1,080 0 210 0 194 0 0 166 72 0 144 0 15 0 14 0 16 0 17 0 17 0 18 0 18 0 18 0 18 0 18 0 18	単位時間 単位 位時間 単単位 中華 単位 位 中華 単位 位 中華 単位 位 中華 単位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 人 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等を連携状れか に記入)	■ 民間の合、 ※ 有の場合、 https://ww (A:単位位 (B:単位な (B:単位な (C)	平価機関以下 一機関以下 一体の 一体の 一体の 一体の 一体の 一体の 一体の 一体の	がら第三任 (iken.ac.jp/ 算 うううう うち な企 企 整 等 等 接 企 業 業 修 企 業 業 等 単 企 教 の 表 と 書 等 等 単 企 業 課に業 す を 論 等 す せ な か の 教 と 者 と 論 等 す せ な か の 教 と 者 と 論 す を は か な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と 論 す と な か の あ と 者 と か と か と か と か と か と か と か と か と か	者意記載 とと連携ししたた 等等したたた 等等したした 業等等したたた 楽楽様しした 楽楽様しした 楽楽様し したた 楽楽様し しんち 巻きがらなど きゅう ととを からい とき ををしば るる 験	実験・実習 演習の授業 と連携した たインター 実験・実習 と連携した たインター と連携した たインター た後あっ	受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の演習の シシップの授 ・実技の単位 数 ・変技の単位 ない。 ・変数	実習・実技 授業時数 (専修学 (専修学 (専修学	の授業時数 の単位数 を設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	(東京 1号) (東京 2号) (東京 3号) (東京 4号)		0 240 1,080 0 210 0 0 164 0 0 164 0 0 164 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 人人人人	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をのました況(Aに記入)	■ 民間の合、 計 (A:単位位	平価機関以下 : W.nagoya-時間に乗時 (がら第三任 (iken.ac.jp/ 算 うううう うち な企 企 整 等 等 接 企 業 業 修 企 業 業 等 単 企 教 の 表 と 書 等 等 単 企 業 課に業 す を 論 等 す せ な か の 教 と 者 と 論 等 す せ な か の 教 と 者 と 論 す を は か な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と か と か と か と か と か と か と か と か と か	者意記載 とと連携ししたた 等等したたた 等等したした 業等等したたた 楽楽様しした 楽楽様しした 楽楽様し したた 楽楽様し しんち 巻きがらなど きゅう ととを からい とき ををしば るる 験	実験・実習 演習の授業 と連携した たインター 実験・実習 と連携した たインター と連携した たインター た後あっ	受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の演習の シシップの授 ・実技の単位 数 ・変技の単位 ない。 ・変数	実習・実技 授業時数 (専修学 (専修学 (専修学	の授業時数 の単位数 を設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	(東京 1号) (東京 2号) (東京 3号) (東京 4号)		0 240 1,080 0 210 0 0 16	単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 中間 単単位 中間 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 人 人 人 人 人 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をのました況(Aに記入)	■ 民間の合、 計 (A:単位位	平価機関以下 : W.nagoya-時間に乗時 : W.nagoya-時間に乗時 : W.nagoya-時間に乗時 : W.nagoya-時間に乗時 : W.nagoya-時間とよる : W.nagoya-ba-ba-ba-ba-ba-ba-ba-ba-ba-ba-ba-ba-ba	がら第三任 (iken.ac.jp/ 算 うううう うち な企 企 整 等 等 接 企 業 業 修 企 業 業 等 単 企 教 の 表 と 書 等 等 単 企 業 課に業 す を 論 等 す せ な か の 教 と 者 と 論 等 す せ な か の 教 と 者 と 論 す を は か な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と か と か と か と か と か と か と か と か と か	者意記載 とと連携ししたた 等等したたた 等等したした 業等等したたた 楽楽様しした 楽楽様しした 楽楽様し したた 楽楽様し しんち 巻きがらなど きゅう ととを からい とき ををしば るる 験	実験・実習 演習の授業 と連携した たインター 実験・実習 と連携した たインター と連携した たインター た後あっ	受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の演習の シシップの授 ・実技の単位 数 ・変技の単位 ない。 ・変数	実習・実技 授業時数 (専修学 (専修学 (専修学	の授業時数 の単位数 を設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	(東京 1号) (東京 2号) (東京 3号) (東京 4号)		0 240 1,080 0 210 0 0 16	単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をのます。 はた況の「に記入」 を表現した況の「に記入」 を表現した。 ないでは、できる。 を表現した。 ないでは、できる。 ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	■ 民間の合、 計 (A:単位位	平価機関以下 : W.nagoya-時間に乗時 (がら第三任 (iken.ac.jp/ 算 うううう うち な企 企 整 等 等 接 企 業 業 修 企 業 業 等 単 企 教 の 表 と 書 等 等 単 企 業 課に業 す を 論 等 す せ な か の 教 と 者 と 論 等 す せ な か の 教 と 者 と 論 す を は か な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と 論 す と な か の 教 と 者 と か と か と か と か と か と か と か と か と か	者意記載 とと連携ししたた 等等したたた 等等したした 業等等したたた 楽楽様しした 楽楽様しした 楽楽様し したた 楽楽様し しんち 巻きがらなど きゅう ととを からい とき ををしば るる 験	実験・実習 演習の授業 と連携した たインター 実験・実習 と連携した たインター と連携した たインター た後あっ	受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の演習の シシップの授 ・実技の単位 数 ・変技の単位 ない。 ・変数	実習・実技 授業時数 (専修学 (専修学 (専修学	の授業時数 の単位数 を設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	(東京 1号) (東京 2号) (東京 3号) (東京 4号)		0 240 1,080 0 210 0 0 16	単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 中間 単単位 中間 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 人 人 人 人 人 人	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をのます。 はた況の「に記入」 を表現した況の「に記入」 を表現した。 ないでは、できる。 を表現した。 ないでは、できる。 ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	■ 民間の合、 所	平価機関以下 (Managoya-h時間に乗時を) (Managoya-h時間に乗時を) (Managoya-h時間に乗時を) (Managoya-h時間に乗時を) (Managoya-h時間に乗時を) (Managoya-h時間に乗時を) (Managoya-h時間に乗時を) (Managoya-h時間に乗時を) (Managoya-h時間に乗時を) (Managoya-h時間に乗ります) (Managoya-he) (Managoya-	が (iken.ac.jp/ 算 うううう (う 定) うちちち 企 企 企 必 修 企 業 業 修 任 全 第 等 等 単	者意記 をとと乗うう等ととと位うう等 程従務 る験 門職 をとと乗うう等ととと位うう等 とととは 1 とと乗りるとと 1 ととと 2 を事情しした 2 年 1 年 1 年 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	実験・実習 実演習の授業 とと連携したたインター 実験での単位したときを までも、一般でも関係した。 大でも、対したのでも、対した。 大でも、対したのでも、対した。 大でも、対したのでも、対した。 大でも、対したのでも、対した。 大でも、対したのでも、対した。 大でも、対した。 大でも、対した。	受審年月: ・実技の授業 ・多数 ・変技のである。 ・変技のである。 ・変技の単位 ・変技の単位 ・変技の単位 ・変技の単位 ・変技の単位 ・変数・変換・のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	実習・実技 授業時数 数 文章 学生位数 (専修学 (専修学	の授業時数 の単位数 を設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	(東京 1号) (東京 3号) (東京 3号) (東京 4号)		0 240 1,080 0 210 0 194 0 0 166 72 0 144 0 0 16 3 0 0 0 0 4	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をのます。 はた況の「に記入」 を表現した況の「に記入」 を表現した。 ないでは、できる。 を表現した。 ないでは、できる。 ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	■ 民間の合、 所	平価機関以下 (Managoya-h時間に乗時を) (Managoya-h時間に乗時を) (Managoya-h時間に乗時を) (Managoya-h時間に乗時を) (Managoya-h時間に乗時を) (Managoya-h時間に乗時を) (Managoya-h時間に乗時を) (Managoya-h時間に乗時を) (Managoya-h時間に乗時を) (Managoya-h時間に乗ります) (Managoya-he) (Managoya-	が (iken.ac.jp/ 算 うううう (う 定) うちちち 企 企 企 必 修 企 業 業 修 任 全 第 等 等 単	者意記 をとと 乗ううう 等とと 位ううちとと 乗うちちとと 乗りまる ちょう りょう とと 乗りまる きょう とと 位う うちと を 事に できまる 大き できまる はんしん いっぱん いっぱん かいしょう しんしん いっぱん かいしょう しんしん いっぱん かいしょう しんしん いっぱん かいしょう しゃく しょう しょう しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょう	実験・実習 実演習の授業 とと連携したたインター 実験での単位したときを までも、一般でも関係した。 大でも、対したのでも、対した。 大でも、対したのでも、対した。 大でも、対したのでも、対した。 大でも、対したのでも、対した。 大でも、対したのでも、対した。 大でも、対した。 大でも、対した。	受審年月: ・実技の授業 ・多数 ・変技のである。 ・変技のである。 ・変技の単位 ・変技の単位 ・変技の単位 ・変技の単位 ・変技の単位 ・変数・変換・のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	実習・実技 授業時数 数 文章 学生位数 (専修学 (専修学	の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	(東京 1号) (東京 3号) (東京 3号) (東京 3号) (東京 4号)		0 240 1,080 0 210 0 194 0 0 166 72 0 144 0 0 16 3 0 0 0 0 4	単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 中間 単単位 中間 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 人 人 人 人 人 人	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

スポーツに関する基礎的知識から専門知識まで、専門教育を幅広く学び、目指す業界において必須となる資格取得に向けたカリキュラム展開をしている。人生設計のためのキャリアプランニングや、プレゼンテーション能力および実践指導能力の向上を目指すカリキュラムにより、業界で即戦力となる人材育成を目的に、業界が必要とする人材を業界と共に育成する産学連携教育という考えのもと授業を実施している。また、教育課程編成委員会や講師会等において、業界・団体の方の意見や動向、要望などを取り入れ、授業内容の見直しや授業方法の改善・工夫等を行っていく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本校の教育課程編成委員会は、理事会のもとに設置され、(添付 教育課程編成委員会規程参照)、委員会の適切な運営は理事長が担保する。また、学校運営においては、教員組織規則において、「委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を充分に活かし、実績的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に努める」ことが明記され、この定めに従い、委員会を運営する。また教育課程編成委員会の意見はカリキュラム検討会議で審議されたのち、校長の許可を経て決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年5月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
霊池 恵量	公益財団法人 愛知県スポーツ協会	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	1
加納 雅子	株式会社平針スイミングスクール	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	3
木村 一郎	名古屋医健スポーツ専門学校	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	_
栗栖 昭五	名古屋医健スポーツ専門学校	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	_
杉本 佳史	名古屋医健スポーツ専門学校	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	_
松沢 恵美	名古屋医健スポーツ専門学校	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (5月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年5月28日 14:00~15:00

第2回 令和6年2月3日 14:00~15:00

第1回 令和6年6月1日 14:00~15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

各講義授業や実技授業を通して学んだ内容が、資格取得という目標達成につながるよう学生個々の理解度に合わせたフォローに取り組んでいる。業界に出た際は知識・技術はもちろんのこと、人間力が必要であると委員の方から意見を頂き、基本的な挨拶や礼儀・マナーの面など人間教育を入学時から徹底している。1年生・2年生の合同授業を実施し、後輩が先輩を見て、人間力の部分も気づけるよう、授業展開を工夫している。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、学校と業界が協力をして、業界が求める即戦力の人材を育成し、業界に送り出すという「産学連携教育」を開校以来実施してきた。即戦力としての職業人教育を行うため、業界と連携し、専門知識・技術、人間力を持ち合わせた人材育成を行っている。

- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

実習・演習科目においては、現場の第一線で活躍するプロに非常勤講師を依頼するなど、授業内容を業界関係者と共に企画立案し、その実施及び達成度評価を行っている。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
コンディショニング		スポーツ全般におけるコンディショニングの基礎的知識を幅広く学ぶ。スポーツパフォーマンスを最大限に高めるために必要となる要素を理解することでトレーニング計画を立てることができ、ウォーミングアップやクーリングダウン、ストレッチ等の実践につなげていくことができる。	
スポーツ医学	1.【校内】企業等から の講師が全ての授業 を主担当	スポーツ現場で必要とされる触診技術についての知識を学び、実技を通じて触診の技術を習得する。 人の身体に触れながら、解剖学理解をより深めていき、正確な評価・測定の実践につなげていくことができる。	株式会社 ポディオ
卒業制作		企業から与えられた課題に対して、グループごとに取り組む。ホーム戦の試合運営において、チームスタッフ指導の下、直接来場者の対応にあたっていく。活動した内容を共有し、新たな課題の発見と取り組みを続けていく。	株式会社ヴィアティン三重ファミリークラブ
特別講義	2.【校内】企業等から の講師が一部の授業 のみを担当	業界の方々から様々な知識を得ることにより、自身の将来設計について考えるとともに、気づきを得る。 最先端のスポーツ業界を知り、活躍するプロの姿を見て学んでいく。	株式会社 フェニックス

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

学園の定める教員研修規定において、教員の授業内容・教育技法の改善並びにクラス運営方法の向上、マネジメント能力 を含む指導力の向上を研修の目的と定めています。PDCAサイクルを展開することを年間の教育活動の中心に捉え、ファカ ルティ・デベロップメント活動を推進する「FDミクロレベルフォローアップ研修」。中途退学者防止と国家試験全員合格に向け た「学生一人ひとり」に対する「国家試験対策研修会」を筆頭に各研修を学期が変更するタイミングで計画的に受講させてい ます。そこで学んだことを① キャリア教育の視点、② 一人ひとりを見ていく視点さらに、専任教員と兼任教員で組織する講 師会議において共有し、授業内容のチェック、教育技法改善に向けた研修を実施しています。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専任教員 研修名:

ミーティング 養成認定校アスレティックト

対象: レーナー専任教員 期間: 令和5年 8月21日(月)

日本スポーツ協会からの重要伝達事項(カリキュラム変更点等)及び、事例発表(授業方法等) 内容

2024年度 GFI資格養成校研修会 連携企業等:公益社団法人 日本フィットネス協会 研修名:

対象:養成校 実技担当専任教 員 令和5年 10月13日(金) 期間:

前年度の試験結果報告、フィットネス指導者の活動領域と展望について 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

連携企業等: 滋慶教育科学研究所 研修名: FDミクロレベル <クラスマネジメント>研修 Ⅱ

令和5年 7月26日(水) 対象: 研修 I 修了者 期間:

滋慶学園における担任の「クラスマネジメント」の定義に共感、クラスマネジメントのポイントを理解し、「クラ

ス」をひとりで支えることなく、学生のセーフティーネットの運用のための「実行計画」作成、実践、修正がで 内容

きるようになる

研修名: 公認スポーツ指導者 コーチデベロッパー養成講習会(講師) 連携企業等:公益財団法人日本スポーツ協会

養成認定校 専任教員とし 期間: 令和5年 9月23(土)~9月25日(月) 対象: てコーチデベロッパー資格

を有する者

連携企業等:公益財団法人日本スポーツ協会

スポーツの価値・スポーツの未来への責任を自覚し、スポーツの社会的価値を高めることに貢献できる指 内容

導者を育成する為の協会主催研修会において、講師を実践する

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専任教員ミーティング 連携企業等: 公益財団法人日本スポーツ協会

期間: 令和6年 8月20日(火) 対象: 養成認定校アスレティックト 対象: レーナー専任教員

内容 日本スポーツ協会からの重要伝達事項(カリキュラム変更点等)及び、教授法の実際について

研修名: 2025年度 GFI資格養成校研修会 連携企業等: 公益社団法人 日本フィットネス協会

期間: 令和6年 9月13日(金) 対象:養成校 実技担当専任教員

内容 前年度の試験結果報告、グループエクササイズ指導力をあげる取り組みについて

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 2024年度FDミクロレベル < スタート > 研修 連携企業等: 滋慶教育科学研究所

期間: 令和6年 6月5日(水) 対象: 研修 I 修了者

内容 クラスの成長を促すコーチングの基礎を学び、実践に繋げる。安心・安全なクラスづくりを学ぶ。

研修名: 2024年度教職員カウンセリング研修<1次> 連携企業等: 滋慶教育科学研究所

期間: 令和6年 9月26日(木) 対象: 滋慶学園 教職員

内容 滋慶学園グループの全教職員がカウンセリングマインドを身につけて、学生や保護者に対応できるように

スキル向上を目指し資格を取得する

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

卒業生、保護者代表、近隣関係者、高校関係者並びに、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校教職員が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価することを通じ、学校運営の改善に生かす事を 方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応 ガイドラインの評価項目 学校が設定する評価項目 「理念・目的・育成人材像は定められているか」 (1)教育理念・日標 「学校の特色は何か」 「学校の将来構想を抱いているか」 「運営方針は定められているか」 「事業計画は定められているか」 「運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか」 (2)学校運営 「人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか」 「意思決定システムは確立されているか」 「情報システム化等による業務の効率化が図られているか」口 「各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人 材ニーズに向けて正しく方向付けられているか」 「修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか」 「カリキュラムは体系的に編成されているか」 「学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされている 「キャリア教育の視点に立ったカリュキュラムや教育方法などが実施さ (3)教育活動 れているか」 「授業評価の実施・評価体制はあるか」 「育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保して いるか」 「教員の専門性を向上させる研修を行っているか」 「成績評価・単位認定の基準は明確になっているか」 「資格取得の指導体制はあるか」 「就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られ ているか」 (4)学修成果 「資格取得率の向上が図られているか」 「退学率の低減が図られているか」 「卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか」 「就職に関する体制は整備されているか」 「学生相談に関する体制は整備されているか」 「学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか」 「学生の健康管理を担う組織体制はあるか」 (5)学生支援 「課外活動に対する支援体制は整備されているか」 「学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか」 「保護者と適切に連携しているか」 「卒業生への支援体制はあるか」口 「施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている か」 (6)教育環境 「学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を 整備しているか」 「防災に対する体制は整備されているか」口 「学生募集活動は、適正に行われているか」 「学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか」 (7)学生の受入れ募集 「入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか」

「学納金は妥当なものとなっているか」口

(8)財務	「中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか」 「予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか」 「財務について会計監査が適正に行われているか」 「財務情報公開の体制整備はできているか」
(9)法令等の遵守	「法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか」 「個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか」 「自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか」 「自己点検・自己評価結果を公開しているか」ロ
(10)社会貢献・地域貢献	「学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか」 「学生のボランティア活動を奨励、支援しているか」
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。 (3)学校関係者評価結果の活用状況

学校で毎年定める事業計画の実行方針において提起された目標(カリキュラムのイノベーション、中途退学防止、卒業後の 離職防止等)を具体化するため、企業等からのヒアリングを行い、業界の動きを踏まえた実行計画を作成している。 企業等への具体的な情報提供方法としては、業界関係者である兼任教員と教職員の間で講師会議を開催し、授業科目編 成や各科目のシラバスなどについて審議を行い、そこで出された意見を反映させている。 インターンシップ(業界研修)においては、実習先へ教員が訪問し、学生の実習状況始め、学校・学科運営に対する意見を 聞き取る等を実施し、意見集約とその反映を行っている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
白瀧 正人	栄学区区政協力委員会	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	地域関係者
後藤 アミ	医療法人和光会 川島病院	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	卒業生代表
橋本 さゆり	在校生保護者	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	保護者代表
三輪 義之	愛知県立大府東高等学校	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	高等学校関係者
藤川 和秀	公益社団法人 愛知県柔道整復師会	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	企業等委員
長谷川 栄一	一般社団法人 愛知県鍼灸師会	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	企業等委員
霊池 恵量	公益財団法人 愛知県スポーツ協会	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	企業等委員
青木 一樹	公益社団法人 愛知県理学療法士会	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	企業等委員
佐久間 大輔	一般社団法人 愛知県作業療法士会	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	企業等委員
水草 あゆみ	公益社団法人 愛知県歯科衛生士会	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	企業等委員
笹野 大栄	公益社団法人 名古屋市私立幼稚園協会	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	企業等委員
瀬口 邦比古	一般社団法人 愛知県調理師会	令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: 公表時期: 令和6年6月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に 関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校で毎年定める事業計画の実行方針において提起された目標(カリキュラムのイノベーション、中途退学防止、卒業後の 離職防止等)を具体化するため、企業等からのヒアリングを行い、業界の動きを踏まえた実行計画を作成している。 企業等への具体的な情報提供方法としては、業界関係者である兼任教員と教職員の間で講師会議を開催し、授業科目編 成や各科目のシラバスなどについて審議を行い、そこで出された意見を反映させている。 また、インターンシップ(業界研修)においては、実習先へ教員が訪問し、学生の実習状況始め、学校・学科運営に対する意

見を聞き取る等を実施し、意見集約とその反映を行っている。

2)「専門学校における情報提供等への取 ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	校長名、所在地、連絡先、学校の沿革、建学の理念、学校安全関連、 保健対策
(2)各学科等の教育	受入方針、定員、カリキュラム(教科課程表)、学年歴、卒業・進級判定基準、卒業と同時に取得する称号、卒業後の主な就職先、科目配当表、時間割、年間の授業計画、シラバス等の情報提供。就職や資格の実績の公表。
(3)教職員	教職員数、学校組織図、教員の実績、教職員組織、専門性などの情 報の提供。
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、産学協同教育
(5)様々な教育活動・教育環境	設備紹介、海外実学研修、課外活動
(6)学生の生活支援	中途退学防止への取り組み、進路変更委員会・SSC、健康管理
(7)学生納付金・修学支援	学費一覧、奨学金・教育ローン案内等
(8)学校の財務	財務資料
(9)学校評価	学校関係者評価委員会
(10)国際連携の状況	留学生支援、留学生の受け入れ状況
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

)) https://www.nagoya-iken.ac.jp/school/public_info.html

URL: 公表時期: 令和6年6月30日

授業科目等の概要

	(文化・教養専門課程 スポーツ科学科(昼間II部))															
	必	択必	自由	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学	授業時	単位数	講義	業方演習	法実験・実習	校 内	校外	事 任	兼任	企業等との連
1	0			キャリアプランニ ング	社会人・業界人として必要な一般常識から、就職に向けての書類作成方法や面接 の受け方等について幅広く学ぶ。また人と接する仕事をするうえで必要なコミュ ニケーションスキルがら、社会人として必要なマナー等について学ぶことによ り、業界所修等に向けての準備として位置づけ、業界人としての心構えを身につ	期 2 通・1	数 120	8	0		実	0		0		携
2	0			ビジネススキル	ける。 グローバルな感性を養うとともに、情報処理の知識を習得し国際化に対応できる 能力を身につける。	通 1 通	90	6		0		0			0	
3	0			生理学	人体の機能について、生理学的側面からの基礎を学び説明することができる。	1 前	30	2	0			0			0	
4	0			解剖学	全身の筋・骨格系における解剖学の基礎を中心に学び説明することができる。	1 前	30	2	0			0		0		
5	0			運動学	人体の構造や筋・神経系統における力学的側面についての基礎を学び説明することができる。	1 後	30	2	0			0			0	
6	0			栄養学	各栄養素についてその消化、吸収、代謝など栄養一般の基礎知識を学び、指導できるようになる。	1 前	30	2	0			0			0	
7	0			指導者論	スポーツ指導者として必要となるスポーツ・健康に関する基礎知識や社会の役割 について学び指導できるようになる。	1 通	60	4	0			0			0	
8	0			社会学	現代社会におけるスポーツの必要性や意義、役割や歴史について学び説明できるようになる。	1 後	30	2	0			0			0	
9	0			基礎医学	スポーツ医学に関する知識を学ぶとともに救急処置法の座学、演習を通じて救急 処置ができるようになる。	1 通 2	60	4	0	Δ		0			0	
10	0			コンディショニン グ	スポーツマッサージやストレッチング、ウォーミングアップやクールダウンを演習を通じて身につけることができる。	前・1 通	150	10	Δ	0		0			0	0
11	0			エクササイズ基礎	トレーニングの種類や方法、様々なエクササイズを体得し、指導することができるようになる。	1 前	150	10	Δ	0		0			0	
12		0		スポーツ科学	基礎運動学で学んだ知識を、実技を通じることにより、その理解をさらに深め説明できるようになる。	通・1後2	210	14	Δ	0		0			0	
13		0		機能的解剖学	人体を機能的側面から捉え、筋・骨格系、関節の動きについての理解を深め説明 できるようになる。	前 1 後 2	60	4	0			0		0		
14		0		スポーツ医学	人体を機能的側面から捉え、筋・骨格系、関節の動きについての理解を深め説明 できるようになる。部位別スポーツ障害・外傷について、その発生機序から症 状、治療法等について学び、判断できるようになる。	前 1 後 2	120	8	0	Δ		0			0	0
15		0		専門的 コンディショニン グ	テーピングやレジスタンストレーニングで身に付けた基礎となるテクニックをさらに深め、新たなエクササイズテクニックを習得できる。	通・1後2	270	18	Δ	0		0			0	
16		0		健康管理	健康づくりの基礎知識から、内科疾患に至るまでの基礎知識および健康指導について説明できるようになる。健康の維持・促進のための栄養指導ができるようになる。	前 1 後	90	6	0			0			0	
17		0		フィットネス総論	JAFA各種資格に必要となるフィットネス基礎理論およびグループエクササイズ指導理論について説明できるようになる。健康の維持・増進のための栄養指導ができるようになる。	2 通	60	4	0			0			0	
18		0		健康・フィットネ ス演習	子どもから高齢者まで、幅広い対象者の健康を支えていく為の知識を学び説明で きるようになる。	2 通 2	270	18	Δ	0		0			0	
19		0		エクササイズ演習	スタジオブログラムやグルーブエクササイズで必要となるコンディショニングに ういて実技を習得できる。	前 1 後	150	10		0		0			0	
20		0		リラクゼーション	コンディショニングスキルのひとつであるリラクゼーション法についての基礎知識を学び説明できるようになる。	1後	60	4	Δ	0		0			0	
21		0		ビジネス論	スポーツ業界を支える職種を知り、またその業務内容やシステムについての基礎 知識を学ぶ。	1 後	30	2	0			0			0	

29 🔾		宿泊実習 特別講義 卒業制作 健康運動実践	宿泊実習を通して、各知識や専門的スキルの更なる向上を目指し、指導できるようになる。 業界の方々から様々な知識を得ることにより、自身の将来設計について考えるとともに、気づきを得る。 2年間の集大成として各自各グループでテーマを設定し課題に取り組む。 最終的に各グループ全てが学内でプレゼンテーションを行うことで自主性を養うことができる。 健康づくり事業財団認定の「健康運動実践指導者」資格試験対策を行う。	通 2 通	60 60 90	6	0	0	0	0 0 0	0		0
+		特別講義	うになる。 業界の方々から様々な知識を得ることにより、自身の将来設計について考えると ともに、気づきを得る。 2年間の集大成として各自各グループでテーマを設定し課題に取り組む。 最終的に各グループ全てが学内でプレゼンテーションを行うことで自主性を養う	通 2 通	60	4	0	0	0	0	0		0
28 0			うになる。 業界の方々から様々な知識を得ることにより、自身の将来設計について考えると	通 2			0		0		0	0	_
		宿泊実習			60	2			0		0	0	0
27 O													
26	0	情報技術	Microsoft Word、Excel、のMOSスペシャリスト検定合格に向けて、学びパソコンスキルを習得できる。	2 通	60	4		0		0			0
25	0	グローバルプログ ラム	国際化に対応できるよう、日常やビジネスなどあらゆる場面において必要となる 語学スキルを学び、幅広いコミュニケーション力を養う。	2 前·1 後	120	8	0	Δ		0			0
24	0	スポーツビジネス 演習	スポーツに関連するマーケティングについて、その基礎的知識から事例を通じて 幅広く学び、マーケティングカが身につく。	· 1 後	120	8		0		0			0
23	0	スポーツビジネス 総論	スポーツに関連するマーケティングについて、その基礎的知識から事例を通じて 幅広く学び、マーケティングカが身につく。	· 1 後	210	14	0	Δ		0			0
22	0	ビジネス基礎	社会人として必要なビジネススキルについて基礎から応用まで幅広く学び、社会 人としての身構え・心構えがつく。	1 後	30	2	0			0		0	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	等
履修すべき学科目がすべて認定されていること。出席すべき日数が3分の2以上であること。各学科目及び実習に 卒業要件: かかる出席時間数が所定の時間を満たしていること。学校長が授業科目の成績評価及び卒業判定会議の審議の基 づき、課程修了の認定を行う。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 必修科目は、そのすべてを履修しなければならない。選択必修科目は、1年次に16単位以上、2年次に28単位以 上履修すること。	1 学期の授業期間	15 週

- 【留意事項】 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。